

長野県ラリーシリーズ 第6戦

第13回 M.C.S.C.ハイランドラリー2011

特別規則書

組織許可番号:No.2011-1125

JAF 公認 準国内競技(上・中級者向)

開催期間 : 2011年10月8日(土)～9日(日)

主催 : 松本カースポーツクラブ

協力・協賛 : 小谷村

株式会社鹿島槍

安曇野スイス村

ブリヂストンタイヤ長野販売(株)

新日本石油(株)

ダンロップファルケンタイヤ(株)

スバルテクニカインターナショナル(株)

(株)エフ・アンド・オー・システムズ

JMRC 関東地域クラブ協議会長野県支部

順不同

第1章	プログラム	3
第2章	概要	3
第1条	競技会の名称	3
第2条	競技格式	3
第3条	競技種目	3
第4条	開催日程および開催場所	3
第5条	競技会本部(HQ)の所在地, レイアウト図, 開設および閉鎖日時	3
第6条	コース概要	4
第7条	オーガナイザー	4
第8条	組織	4
第3章	参加申込	5
第9条	参加申込受付期間	5
第10条	参加申込および問い合わせ先(大会事務局)	5
第11条	参加料およびサービス登録料	5
第12条	参加台数	6
第13条	参加車両	6
第4章	競技	7
第14条	レッキの実施方法	7
第15条	公式車両検査	7
第16条	タイヤおよびマーキング	7
第17条	タイムコントロール	7
第18条	スペシャルステージ	7
第19条	整備作業	7
第20条	参加者の遵守事項および注意事項	8
第21条	ルート	8
第22条	抗議	8
第23条	賞典	8
第24条	その他	9
第5章	付則	10
付則1	- 暫定のラリー行程表	10
付則2	- レッキのスケジュール(予定)	10
付則3	- CRO	11
付則4	- HQ レイアウト, サービスパークのレイアウト等	11
付則5	- 信号灯によるスタート手順	11
付則6	- ゼッケンの貼付場所	11

長野県ラリーシリーズ 第6戦

第13回 M.C.S.C.ハイランドラリー2011

公 示

2011年長野県ラリーシリーズ 第6戦「第13回 M.C.S.C.ハイランドラリー2011」は、一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」という)の公認のもとに国際自動車連盟(FIA)の国際モータースポーツ競技規則に準拠したJAFの国内競技規則とその付則、ラリー競技開催規定、JMRC ラリーシリーズ関東統一規則書および本競技会特別規則に従い準国内競技として開催される。

第1章 プログラム

参加申込の開始日時	9月17日(土)	10:00	～		大会事務局
参加申込の締切日時	9月30日(金)		～	19:00	大会事務局
レッキ受付/ロードブック発行	10月8日(土)	7:30	～	8:00	鹿島槍スポーツヴィレッジ
レッキ	10月8日(土)	7:30	～	13:00	
サービスパークオープン	10月8日(土)	7:00	～		鹿島槍スポーツヴィレッジ
参加確認	10月8日(土)	12:30	～	13:10	鹿島槍スポーツヴィレッジ
サービス受付	※サービスの受付等を行わない。				
公式車両検査	10月8日(土)	12:50	～	13:30	鹿島槍スポーツヴィレッジ駐車場
第1回審査委員会	10月8日(土)	13:00	～		鹿島槍スポーツヴィレッジ
ドライバーズブリーフィング	10月8日(土)	13:45	～		鹿島槍スポーツヴィレッジ
スタートリスト公示	10月8日(土)	14:00			公式掲示板(HQ)
DAY1 スタート	10月8日(土)	14:30	～		鹿島槍スポーツヴィレッジ駐車場
DAY1 フィニッシュ	10月8日(土)	21:30		(予定)	鹿島槍スポーツヴィレッジ駐車場
暫定結果発表	10月8日(土)	22:00		(予定)	公式掲示板(HQ)
正式結果発表	10月8日(土)	22:30		(予定)	公式掲示板(HQ)
表彰式	10月8日(土)	22:30		(予定)	鹿島槍スポーツヴィレッジ

※サービス資料はエントラント資料に含まれる。受付等を行わないが、各自資料を確認すること。

※サービスエリア内の車両保管位置の指定は行わない。

第2章 概要

第1条 競技会の名称

長野県ラリーシリーズ 第6戦
第13回 M.C.S.C.ハイランドラリー2011

第2条 競技格式

JAF 公認:準国内競技 JAF 公認番号 2011年 1125号

第3条 競技種目

ラリー競技開催規定の付則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

第4条 開催日程および開催場所

2011年 10月8日(土)～ 10月9日(日)の2日間
岐阜県高山市周辺
ラリースタート/フィニッシュ:大町市平

第5条 競技会本部(HQ)の所在地, レイアウト図, 開設および閉鎖日時

10月8日(土) 7:00 ～ 23:00 〒398-0001 長野県 大町市 平 鹿島槍 黒沢高原
鹿島槍スポーツヴィレッジ
HQ レイアウト図はロードブックで示す。

第6条 コース概要

- 1) スペシャルステージの概要
 - (1) 路面 : 舗装(ターマック)
 - (2) 距離 : 27.65 km
 - (3) スペシャルステージの数 : 7
 - (4) セクションの数 : 2
 - (5) デイの数 : 1
- 2) 総走行距離 : 171.94 km

第7条 オーガナイザー

松本カースポーツクラブ(略称 M.C.S.C.)
代表者名 平林 武
担当者名 今井 徹 TEL 0263-71-2505 FAX 0263-71-2506

第8条 組織

- 1) 大会役員
大会会長 平林 武
- 2) 組織委員会
組織委員長 平林 武
組織委員 青木 勢治
組織委員 中田 和良
- 3) 競技会主要役員
 - (1) 競技会審査委員会
競技会審査委員長 三浦 正(JMRC 関東長野県支部顧問)
競技会審査委員 小口 貴久(JMRC 関東支部長)
 - (2) 競技役員
競技長 池田 徹矢
コース委員長 池田 徹矢
計時委員長 漆戸あゆみ
技術委員長 清水 和彦(JMRC 関東長野県支部ラリー部長)
救急委員長 今井 徹
事務局長 今井 徹
 - (3) CRO(選手リレーション役員/Competitor Relation Officer)
CRO TBA

第3章 参加申込

第9条 参加申込受付期間

受付開始:2011年9月17日(土) 10:00

受付締切:2011年9月30日(金) 19:00

第10条 参加申込および問い合わせ先(大会事務局)

<問合せ先>

大会事務局

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4319

TEL 0263-71-2505 FAX 0263-71-2506

※22:00以降の問い合わせはFAXのみとする。

大会事務局長 今井 徹

携帯番号 090-3007-3373

M.C.S.C.ホームページ

URL: <http://homepage2.nifty.com/mcsc/>

<参加申込要領>

- 1) 参加申し込みは指定の用紙に必要事項を記入し、署名捺印の上、必要書類と共に大会事務局まで郵送すること。

参加料については、全額銀行振込とする。

郵送する書類に振込元の銀行の発行する振込明細票または振込領収書の写しを同封し、振込名義を振込明細書に確実に記入すること。

- 2) 参加者は、本競技会に有効な自動車保険証券の写しを添えること(対人賠償保険 1,000万円以上、搭乗者保険または共済等 200万円以上)。

※JAFへの加入申し込みも可能ですので、事務局にお問い合わせ下さい

- 3) 参加者・サービス員等の宿泊については、参加料に含まれない。各自申し込み、精算等を行うこと。

<参加申込>

- 1) 申込先

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4319

M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ大会事務局宛

TEL 0263-71-2505

- 2) 参加料振込先

松本信用金庫 本店営業部

普通口座 0630417

口座名義 松本カースポーツクラブ

- 3) 提出書類

(1) 参加申込書

(2) 車両申告・出場経歴書

(3) 振込明細書

(1)(2)は、JMRC ラリーシリーズ関東地域統一規則書様式とする

(参考: <http://www.kanto-rally.jmrc.jp/JmrcKantoRallySection/index.html>)

第11条 参加料およびサービス登録料

- 1) 参加料

各クラス 35,000円 /1台(レッキの参加料を含む、宿泊、食事を含まない)

・2011年4月1日時点で大学(短期大学を含む)またはそれに準ずる学生を含むクルーは25,000円/1台とする。尚、当日学生証の提示を必要とする。

・JMRCに加盟しているJAF登録クラブ・団体に所属していない参加者は、1名当たり1,000円を増額した金額とする。

- 2) サービス登録料

サービスカー登録料 なし /1台

サービス員登録料 なし /1名

第12条 参加台数

- 1) 総参加台数 60 台までとする。

第13条 参加車両

1) クラス区分

K クラス	排気量 1,000cc までの車両
B クラス	排気量 1,500cc を超え 3,000cc までの車両
A クラス	排気量 1,500cc までの車両
C クラス	排気量 3,000cc を超える車両

2) 安全装備

- (1) 2011 年 JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に従った RN, RJ 車両または RF 車両および FIA 公認車両または 2002 年 12 月 31 日以前に運輸支局等に初度登録された JAF 登録車両で 2002 年 JAF 国内競技車両規則第 3 編ラリー車両規定に従った車両(RB 車両)のうち, 6 点式以上のロールバーを装着した車両。
- (2) マフラー(消音器)は純正品を装着のこと。
※参加車両の新車時に装着されていた同一部品とし, 各自動車メーカーの『アクセサリ(用品)』カタログに記載されているものの装着は認めない(地域住民への配慮として厳守のこと)。
- (3) 4 点式以上の安全ベルト, レーシングスーツを装備すること。
- (4) 消火器(内容量 2.0 kg以上)。
- (5) 空気を取り入れるためのダクト追加がなくエアクリナーボックスは純正品のままが望ましい。

3) 競技車両に搭載するもの

- (1) OK/SOS ボード 2 枚
- (2) 非常用停止表示板(三角)2 枚
- (3) 非常用信号灯(発炎筒)
- (4) 赤色灯
- (5) 牽引用ロープ
- (6) 救急薬品
- (7) ヘルメット(JIS 乗用車用安全規格適合品またはそれと同等以上の物)

第4章 競技

第14条 レッキの実施方法

- 1) レッキ受付場所
鹿島槍スポーツヴィレージ
※ レッキ受付時にロードブック、タイムカード、その他資料の配布を行う。
- 2) 実施方法
 - (1) スペシャルステージのスタートのオフィシャルによって、チェックを受けなければならない。
 - (2) 各クルーは、各スペシャルステージを2回走行することができる。但し、同じ区間を重複使用するスペシャルステージは1つのステージとして1ヶ所で2回の走行とする。
- 3) クルーの遵守事項
 - (1) レッキ参加に関して、遵守事項、賠償事項等について誓約を必要とする。
 - (2) レッキの間、競技者は交通法規を遵守し、道路標識に表示されている制限速度を守らなければならない。いかなる場合にも、他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。スペシャルステージ内での最高速度は制限速度もしくは45km/hの低いほうとする。

第15条 公式車両検査

- 1) 場所
鹿島槍スポーツヴィレージ駐車場
- 2) 車両検査
 - (1) 競技車はオーガナイザーが定めた場所、時間に公式車両検査を受けなければならない。
 - (2) 車両検査時までに運転免許証、競技運転者許可証、自動車検査証、自動車損害賠償責任保険証及びラリー競技に有効な自動車保険証券またはその領収書の携行をチェックする。
 - (3) 規定の時間内に車検に合格しない車両は、例外なくスタートできない。但し、競技会技術委員長が特に認めたとときに限り5000円の再車検料を支払い、再車検を受けることができる。
 - (4) オーガナイザーは競技中であっても技術委員が必要と認めたとときに車両検査を行うことができる。
 - (5) 上記車両検査に於いて技術委員が要求する車両各部の分解及び検査終了後の再組立はすべて参加者の用意する人員、工具、部品ならびに費用をもって行うものとする。

第16条 タイヤおよびマーキング

- 1) 使用できるタイヤの種類および本数は制限しない。

第17条 タイムコントロール

- 1) 公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。
- 2) デイ最終のコントロール(その直前にサービスパークがある場合はその出口のコントロール)については、早着によるタイムペナルティを与えない。

第18条 スペシャルステージ

- 1) 計測は1/10秒まで計測する。
- 2) スタートは、スタートリスト/直前のTC通過順に1分間隔とする。
- 3) スタートの合図はフライングチェック機能と連動した信号灯を使用する(付則4)。
但し、故障時はラリー競技開催規定付則:スペシャルステージラリー開催規定26条5に従う。

第19条 整備作業

- 1) 整備作業の監督を担当する競技役員:競技会技術委員長
- 2) 整備作業を行うことができる場所:ロードブックに記載されたサービスエリア
- 3) サービスカーの管理方法:『サービスエリア』への車両の入場は制限しないが、指定したエリアに駐車すること。
- 4) タイヤ交換等のため車両をジャッキアップする場合、作業員の安全確保のため、ジャッキを使用してジャッキアップできる車輪は2輪までとし、4輪同時にジャッキアップする場合は、別途工具等にて行うこと。
尚、技術委員が危険と判断した場合は作業を中止させる場合がある。
- 5) 整備の範囲
 - (1) タイヤの交換
 - (2) ランプ類のバルブ交換
 - (3) 点火プラグの交換

(4) Vベルトの交換

(5) 各部点検増締め。

尚、上記以外の整備作業を行う場合、競技会技術委員の許可を得て、所定の申告書を必ず提出すること。

6) 整備作業にあたっては、他の交通および作業員の安全確保に十分留意すること。

7) ゴミ等は各自にて必ず持ち帰ること。

第20条 参加者の遵守事項および注意事項

- 1) 競技中はいかなることがあろうとも、現行道路交通法の遵守を最優先とし、他の交通に迷惑を及ぼさないこと。
- 2) 他車に追従する場合または対向車がある場合は、前照灯の照射方向を適切に変換し、眩惑を生じさせないように留意すること。
- 3) 明らかに追い越そうとしている車両がある場合は、安全かつ速やかに進路を譲ること。
- 4) 登録したクルー以外は乗車してはならない。
- 5) クルーは指示された行程(サービスパークを含む)を正確に維持しなければならない。特にロードセクションにおいてロードブックに記載されたルートから逸脱して走行してはならない。尚、何らかの原因でオーガナイザーが迂回を指示した場合はその迂回路に従うこと。
- 6) 競技から離脱した場合は、直ちに最寄りの競技役員に「リタイヤ届」を提出すること。提出が不可能な場合は電話等の手段で競技会事務局に連絡すること。
- 7) 失格またはリタイヤとなった場合は、直ちにゼッケン、ラリー競技会之証およびその他競技関係添付物を取り除くこと。
- 8) 安全ベルトは必ず装着し、スペシャルステージ走行時やオーガナイザーの指示がある場合は、必ずヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。
- 9) スペシャルステージ走行時やオーガナイザーの指示がある場合は、必ずサイドウィンドウを閉じて走行すること。
- 10) 競技上のあらゆる規定、オーガナイザーの指示に従い、スポーツマンとして公正な行動をとること。
- 11) 本競技会のための練習走行を禁止すると共に、オーガナイザーにより、明らかにそれと認められた場合、失格を含むペナルティを課すと共に、道路補修等の責を負うものとする。
但し、本規則書に記載のレッキは練習走行とはみなさない。

第21条 ルート

- 1) 競技のルートおよびその他の必要情報はすべてロードブックに記載する。
- 2) オーガナイザーは、天候・道路状況によりルートおよび指示事項を公式通知により変更する場合がある。
- 3) ルートはオーガナイザーが数回の試走を行い、基準を定める。

第22条 抗議

- 1) 参加者は自分が不当に処遇されていると判断するときにこれに対して抗議する権利を有する。但し、参加拒否・審判員の判定・スタート順位及び道路状態に対する抗議は受け付けない。
- 2) 抗議申し立ては国内競技規則に従って文書によって行い、抗議料として1件につき20,300円を添え、競技長を経て競技会審査委員会に提出されなければならない。抗議料はその抗議が認められた場合にのみ返還される。
- 3) 競技に関する抗議は競技者のゴール到着後30分以内に文書にて提出されなければならない。但し、チェックカード及びタイムカードの記入事項に関する抗議はそれが交付された地点で1分以内に口頭で行い、記入事項の訂正を受けた場合はその担当オフィシャルの署名を得たもののみ有効とする。
- 4) 車両検査に関する抗議は判定の直後に文書にて提出しなければならない。
- 5) 成績に関する抗議は暫定結果発表後30分以内に文書にて提出しなければならない。
- 6) 役務に付いている競技役員はたとえ抗議が提出されている場合でもそれと関係なく自分の義務と権限を正當に執行できる。
- 7) 競技会審査委員会による抗議の裁定結果は競技会審査委員長により関係当事者のみに口頭で通知される。競技会当日、競技会審査委員会の裁定が下されない場合はその暫定発表の日時・場所を発表し延期することができる。尚、抗議は1件につき代表者1名として上記の手続きを取らなければならない。

第23条 賞典

- 1) 選手権クラス
各クラス 1~3位 JAFメダル・副賞 4~6位 副賞
但し、JAFメダルを除き、各クラスとも参加台数の30%以内とする。

第24条 その他

- 1) 本特別規則は、本競技会に適用されるもので参加受付と同時に有効となる。
- 2) 本特別規則に記載されていない事項については、JAF 国内競技規則とその付則、および FIA 国際モータースポーツ競技規則とその付則に準拠する。
- 3) 本特別規則発行後、JAF において決定され公示された事項は、すべての規則に優先する。

第 13 回 M.C.S.C.ハイランドラリー2011 大会組織委員会

第5章 付則

付則1 - 暫定のラリー行程表

最終の行程表の発表は、参加確認受付時に配布する。

13rd M.C.S.C. Highland Rally 2011		Itinerary					13rd M.C.S.C. Highland Rally 2011
RS: ロードセクションスタート							
DAY1 - Saturday 8 October							
TC SS	LOCATION 場所	SS dist. 距離	Liaison dist. リエゾン距離	Total dist. 総移動距離	Target time 基準所要時間	First Car due 1号車時刻	
0	スタート	-	-	-		14:30	
1	新行	-	12.82	12.82	0:24	14:54	
SS1	SHINGYO I	2.10	-	-	0:03	14:57	
SS1RS						15:01	
2	新行	-	10.31	12.41	0:20	15:21	
SS2	SHINGYO II	2.10	-	-	0:03	15:24	
SS2RS						15:28	
3	池原	-	30.72	32.82	0:57	16:25	
SS3	IKEHARA I	4.10	-	-	0:05	16:28	
SS3RS						16:34	
4	池原	-	15.00	19.10	0:28	17:02	
SS4	IKEHARA II	4.10	-	-	0:05	17:05	
SS4RS						17:11	
4A	鹿島槍駐車場 サービス入口	-	38.70	42.80	1:12	18:23	
サービスA(鹿島槍駐車場) [SECTION1 TOTAL]		[12.40]	[107.55]	[119.95]	0:45		
4B	鹿島槍駐車場 サービス出口 鹿島槍駐車場 リグループ入口	-	-	-		19:08	
	鹿島槍駐車場 リグループ				0:10		
4C	鹿島槍駐車場 リグループ出口/小熊山入口	-	-	-		19:18	
SS5	OGUMAYAMA	5.44	-	-	0:07	19:21	
SS5RS						19:29	
Refuel A(COSMO)			13.10				
Totals to Refuel		[13.64]	[120.65]	[134.29]			
6	やなば	-	19.64	25.08	0:55	20:24	
SS6	YANABA/OGUMAYAMA	7.63	-	-	0:10	20:27	
SS6RS						20:38	
7	やなば	-	16.99	24.62	0:40	21:18	
SS7	YANABA	2.18	-	-	0:03	21:21	
SS7RS							
7A	鹿島槍駐車場 パルクフェルメ入口	-	0.11	2.29		21:25	
[SECTION2 TOTAL]		[15.25]	[36.74]	[51.99]			
DAY1 TOTAL		[27.65]	[144.29]	[171.94]			

付則2 - レッキのスケジュール(予定)

オープン時間	ステージ名	ステージNo.
7:30~8:15	OGUMAYAMA	SS5
8:10~9:40	SHINGYO	SS1/SS2
10:00~12:00	IKEHARA	SS3/SS4
11:30~13:00	YANABA/OGUMAYAMA	SS5/SS6/SS7

付則3 - CRO
TBA



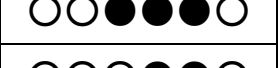

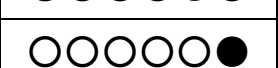
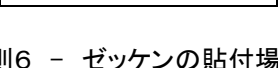
アクションスケジュール(予定)

10月8日(土)

公式車両検査	12:50 ~	鹿島槍スポーツヴィレッジ駐車場
第1回審査委員会	13:00 ~	鹿島槍スポーツヴィレッジ
ブリーフィング	13:45 ~	鹿島槍スポーツヴィレッジ
ラリースタート	14:30 ~	鹿島槍スポーツヴィレッジ駐車場
パルクフェルメ	21:30	鹿島槍スポーツヴィレッジ駐車場
暫定結果発表	22:00	鹿島槍スポーツヴィレッジ
正式結果発表	22:30	鹿島槍スポーツヴィレッジ
表彰式	22:30	鹿島槍スポーツヴィレッジ

付則4 - HQ レイアウト, サービスパークのレイアウト等
公式通知で示す。

付則5 - 信号灯によるスタート手順

	スタート5秒前に5個の赤い信号が点灯
	スタート4秒前に4個の赤い信号が点灯
	スタート3秒前に3個の赤い信号が点灯
	スタート2秒前に2個の赤い信号が点灯
	スタート1秒前に1個の赤い信号が点灯
	スタート時には全ての赤い信号が消え, 1個の緑の信号が点灯

付則6 - ゼッケンの貼付場所

ゼッケン : 左右ドアおよび, ボンネットの計3枚
JAF 公認ラリー競技之証: 左リアウインドウ

